

Online

2024年12月10日(火) 13:30~16:30

# 森林環境譲与税を活用して拡げる 「森林環境教育・森林ESD」実践セミナー2024

全小学校の林間学校で「森林ESDプログラム」を  
導入した東京都小金井市教育委員会の事例に学ぶ

- “森林”は、児童生徒の発達段階に応じて、体験学習・調べ学習・問題解決学習などの多様な「アクティブ・ラーニング」を行いやすく、また社会科・理科・算数・道徳などの多様な「教科横断的な学習」も行いやすいことから、学校教育での「探求学習」としての題材として大きな可能性が有しています。
- こうした中で、(公社)国土緑化推進機構では、(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構等と連携して、①「ワンストップ」のコーディネート体制の構築、②教科横断学習・探求学習志向の「森林ESDプログラム」の開発、③「森林ESDインストラクター」の養成等を取り組んできました。
- そうした条件整備を行うことで、東京都 小金井市教育委員会では、「森林環境譲与税」を活用して、全小学校6年生の「林間学校」で、「間伐体験」「森の探求学習」「事前事後学習」を一体的に実施する「森林ESDプログラム」を導入するに至りました。
- そこで、東京都小金井市の実践事例をもとに、全国で森林環境譲与税を活用して、林間学校等における「森林ESD」の導入が拡がることを期待して、実践セミナーを開催します。

【主催】(公社)国土緑化推進機構

【共催】(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構、小金井市教育委員会

【日時】2024年12月10日(火) 13:30~16:30

【場所】オンライン会議システム「ZOOM」

【定員】100名(定員になり次第、締め切りますので、お早めにお申し込みください)

【参加費】無料

【申込】WEBサイトの「申込フォーム」からお申し込みください。

《フォーム》<https://forms.gle/BRsguar3mtu853oCA>

【締切】2024年12月3日(火) ※定員になり次第、締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。

【問合先】(公社)国土緑化推進機構 政策企画部 TEL: 03-3262-3883 E-mail: [comis@green.or.jp](mailto:comis@green.or.jp)

(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構 E-mail: [explayground.forest@gmail.com](mailto:explayground.forest@gmail.com)



## 東京都小金井市 林間学校における 「森林ESDプログラム」

- ✓ ①事前学習で教科等横断的に小学校5年生までの学びを振り返り、林間学校で調べたいテーマを抽出
- ✓ ②林間学校では間伐体験を行いつつ関心があるテーマで探求学習。
- ✓ ③事後学習でテーマ別に学びをまとめ、全体で各学びを共有・総括。

【小学校5年生】  
多様な教科等における  
学習活動

〈社会〉  
わたしたちの生活と森林  
地球環境とともに生きる(SDGs)  
歴史的木造建造物  
〈理科〉  
植物の発芽と成長  
植物のからだのはたらき  
〈算数〉  
縮図(樹高測定)・面積(森林・葉)  
〈図画工作〉  
造形遊び・木材の切削加工  
〈道徳〉  
生命や自然の尊重  
伝統文化の尊重

【森林ESDプログラム】

《学校》  
①事前学習

《移動教室》  
②森林体験  
・探求学習

《学校》  
③事後学習

〇5年生教科学習の振り返り  
〇森林管理の必要性の気づき

〇間伐体験  
〇探究学習(各種調査)  
〇間伐材利用

動物調査 生物調査  
森林調査 間伐体験 間伐材活用  
植生調査 土壌調査

〇これからの教科学習に向けて  
〇児童同士での学びの共有

【小学校6年生】  
多様な教科等における  
学習活動

〈社会〉  
地球規模課題解決に向けた連携・協力  
〈理科〉  
燃焼の仕組み  
植物の養分と水の通り道  
生物と環境  
〈図画工作〉  
造形的活動の実施  
〈家庭〉  
環境に配慮した生活の工夫  
〈道徳〉  
生命や自然の尊重

# 森林環境譲与税を活用して広げる「森林環境教育・森林ESD」実践セミナー2024 プログラム

1. 開会挨拶	織田 央 ((公社)国土緑化推進機構 専務理事)
2. 概要報告	<b>【1】学校教育に対応した「森林ESD」の考え方</b> 今泉 裕治 ((公社)国土緑化推進機構 常務理事) ▶ (公社)国土緑化推進機構では、 <b>学習指導要領や教科書等の内容に対応しつつ</b> 、森林を多面的に活かして、 <b>教科横断学習や探究学習</b> を志向する「森林ESD」を提唱しながら、教育委員会等の教育分野との連携を進めてきていますので、その基本的な考え方をご紹介します。
	<b>【2】移動教室等における「森林ESDプログラム」導入に向けた5つの仕組みづくり</b> 宮村 連理 ((一社)東京学芸大 Explayground 推進機構、東京学芸大学附属小金井中学校) ▶ 東京都小金井市では、全小学校の林間学校でプログラム提供ができるように、 <b>①青少年教育施設の近隣の活動フィールドの確保、②指導者組織と連携した実施体制の構築とコーディネーター配置、③教科横断学習・探究学習志向の「森林ESDプログラム」の開発、④教育的な視点を併せ持った「森林ESDインストラクター」の養成、⑤段階的な実績づくりを経た「森林環境譲与税」による財政措置</b> を図り、持続的な活動を展開しており、その概要をご紹介します。
	<b>【3】教科横断学習・探究学習志向の「森林ESDインストラクター」養成の仕組みづくり</b> 鳥屋尾 健 ((公財)キープ協会 環境教育事業部長) ▶ 小金井市における「森林ESDプログラム」は、他の市区町村等にも横展開できるように、文部科学省所管の(独)国立青少年教育振興機構等が推進する「自然体験活動指導者養成制度 (NEAL)」の枠組みに合わせて、延べ90時間以上の講義・実習・OJTを行っており、その概要を紹介します。
	<b>【4】森林環境譲与税を活用した全小学校への「森林ESDプログラム」の導入</b> 高久 かおり (東京都 小金井市教育委員会 指導主事) ▶ 小金井市の「森林ESDプログラム」は、初年度は1校、2年目は3校を実施し、当該校での取組を校長会で報告しつつ、希望する学校には「森林環境譲与税」で財政支援する中で、ボトムアップで全校での導入に至りました。その経緯や具体的な内容について、をご紹介します。
2. 実践報告	<b>【1】「森林ESDプログラム」事前学習の概要</b> 阿部 真弥 (東京学芸大学大学院、森林ESDインストラクター) ▶ ボードゲームを用いることで、「間伐体験」の意義を学び、主体的な参加意欲を醸成したり、児童が主体的に「探求学習」のテーマを検討できるように行っている事前学習の様子を紹介します。
	<b>【2】「森林ESDプログラム」間伐体験・探求学習の概要</b> 村山 敬洋 (自然体感工房つむぐ、森林ESDインストラクター) ▶ 林間学校の2日目の午前・午後に行っている林業事業体の指導による探求学習志向の「間伐体験」や、児童が自ら決めたテーマで行う多様なテーマの「探求学習」の様子を紹介します。
	<b>【3】「森林ESDプログラム」事後学習の概要と学習の成果</b> 浅野 正道 (東京都 小金井市立第一小学校 校長) ▶ 林間学校での「間伐体験」と「探求学習」の学びを組み合わせで行っている事後学習の様子をご紹介します。紹介頂きながら、「森林ESDプログラム」の効果と今後の可能性の所感を紹介します。
3. ディスカッション	「森林環境譲与税を活用した、移動教室における「森林ESD」の価値と可能性」 ～地域と学校の協働による「教育の質の向上」から、「森林サービス産業」の創出まで～ 《進行》宮村 連理 ((一社)東京学芸大 Explayground 推進機構) 《登壇》上記登壇者 《講評》大熊 雅士 (小金井市教育委員会 教育長)
4. 閉会	
5. 個別相談	(希望する自治体・教育委員会、青少年教育施設等を対象に、個別相談を行います)